



赤い羽根共同募金運動

令和元年度事業報告

～ ここにも赤い羽根が。～



(令和元年度静岡県版ポスター)

社会福祉法人静岡県共同募金会

目 次

第1部 概 要	
1 募金状況 -----	1
2 助成状況 -----	1
第2部 事業実施状況	
第1 募金活動	
1 社会的ニーズの把握 -----	2
2 助成要綱の制定 -----	2
3 助成申請の受付 -----	3
4 助成計画と目標額の策定 -----	3
5 広報・啓発活動 -----	3
6 寄付依頼活動(募金活動) -----	6
第2 助成活動	
1 共同募金による助成 -----	14
2 緊急等助成資金による助成 -----	15
3 助成活動の効果測定と監査の実施 -----	16
第3 その他の活動	
1 災害等準備金の状況 -----	17
2 災害義援金の状況 -----	17
3 共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金の受入れと助成 -----	19
4 他団体助成事業の受託事務 -----	19
5 顕彰活動 -----	20
第3部 法人運営	
第1 会務の運営	
1 理事会 -----	21
2 評議員会 -----	23
3 監事監査 -----	23
4 評議員選任・解任委員会 -----	23
5 配分委員会 -----	23
6 本会開催の会議等 -----	24
第2 その他の会務の運営	
1 関係機関との連携 -----	25
2 共同募金運動 70 周年答申の推進方策への対応 -----	25
3 共同募金運動募金経費 -----	26
4 社会福祉法人指導監査 -----	26
5 新型コロナウイルス感染症対策 -----	26
第3 社会福祉法人静岡県共同募金会役職員名等簿 -----	27

第1部 概要

73年間の寄付金総額 300億円突破！

赤い羽根共同募金運動は、昭和22年に国民一人一人が助け合いの精神で取り組む「国民たすけあい運動」として開始され、多くの募金ボランティアの尽力により、令和元年度までの73回の寄付金総額は約304億円に上り、大台の300億円を突破した。

また、この間、助成総額は約268億円にのぼり、地域福祉の推進に大きく寄与してきた。

1 募金状況

令和元年度は、厚生労働省告示第101号により、令和元年10月1日から翌年3月31日までの6カ月間、募金目標額を5億6,800万円に定め、戸別募金を中心に、社会貢献型自動販売機の設置や用途選択募金の推進、寄付つき商品(募金百貨店)の開発、物品寄付の受入など新しい募金手法も取り入れた募金活動を実施した。募金総額は社会貢献制度の多様化等の影響で前年には及ばなかったものの、5億2,870万円余(対前年比98%)となった。特に、用途選択募金は3月以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響で十分な募金活動が行えず苦戦した。

一方で、地域生活課題の多様化、個別化、複雑化に伴い、制度外ニーズ、社会的孤立への対応が求められており、赤い羽根共同募金運動が果たすべき役割はこれまで以上に大きいものがある。

区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
一般募金	363,976,000	325,831,238	89.6	▲6,386,288	98.1
(うち用途選択募金)	(6,449,000)	(4,366,036)	(67.8)	(▲356,201)	(92.5)
地域歳末たすけあい募金	180,319,000	186,629,739	103.5	▲3,962,132	98.0
NHK歳末たすけあい	23,705,000	16,242,566	68.6	▲974,554	94.4
合計	568,000,000	528,703,543	93.1	▲11,322,974	98.0
前年度	570,000,000	540,026,517	94.7	▲4,755,630	99.1

(市町共同募金委員会別の実績額は別冊統計資料 5～10ページ)

2 助成状況

地域福祉活動の資金ニーズを的確に把握し、年度末には新型コロナ対策フードバンク応援事業を立ち上げるなど、既存のサービスでは対応できない多様なニーズに即した助成を行うとともに、次の募金につなげるため、「使途の見える化」に努めた。また、災害対応のため募金額の3%を積み立てた。

助成実績は、前年比96.8%の4億6,816万円余にとどまったが、幅広い福祉関係団体等の要望に応えることができた。

募金区分	助成 件数	助成額(円)	前年度比較		
			増減数	増減額(円)	比率(%)
一般募金	184	268,027,422	18	▲9,271,941	96.7
地域歳末たすけあい募金	34	180,955,208	0	▲3,976,458	97.9
NHK歳末たすけあい	78	19,183,000	7	▲2,361,000	89.1
合計	296	468,165,630	25	▲15,609,399	96.8
前年度	271	483,775,029	▲1	▲4,449,560	99.0

(助成実績は別冊統計資料 12～33ページ)

第2部 事業実施状況

令和元年度は、全国共通テーマ「地域から孤立をなくそう」を達成するために、「参加と協働による『新たなたすけあい』の創設」を謳う共同募金運動 70 周年答申実現のための具体的な取組を継続するとともに、次の 5 本柱(重点方針)に沿って活動を展開した。

① 募金増額のための新たな募金手法への挑戦

従来からの募金手法である戸別募金等とともに、用途選択募金の展開、寄付つき商品の開発、社会貢献型自動販売機の設置、インターネット募金、遺贈の受入など新たな募金手法に挑戦する。

② 助成活動「使途の見える化」

地域福祉活動の資金ニーズを的確に把握し、既存のサービスでは対応できない時代に即した助成メニューの追加、助成基準の明確化を行うとともに、「ありがとうメッセージ」の活用など使途の見える化に努め、助成が募金につながるしくみを目指す。

③ 「赤い羽根」を通じた寄付文化の醸成

社会貢献意識が高まる中、「赤い羽根」の知名度を活かし、学校、自治会、企業(CSR活動)等に対して広報用DVD等を活用した広報や、イベント等での寄付機会の提供を行うことにより、募金活動への参加を促し、寄付文化の醸成を図る。

④ 社会福祉協議会との連携強化

募金活動及び助成活動で大きな役割を果たしている県及び市町社会福祉協議会との連携を密にして、共同募金運動の活性化や運用改善に取り組む。

⑤ 組織の活性化と開かれた組織

運動性の再生を図るため、自らも機能強化を図るとともに、市町共同募金委員会の組織の強化などを支援する。経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性を図り、寄付者に信頼される開かれた共同募金会を目指す。

第1 募金活動

共同募金は地域福祉活動を進めるため、あらかじめ使いみち(助成計画)や目標額(募金計画)を定めて行う計画募金である。そのため地域福祉活動ニーズに即した助成要綱を定め、広く要望を取りまとめたうえで、助成計画及び募金目標額を定めて募金活動を展開した。

特に、用途選択募金の展開、社会貢献型自動販売機の設置、寄付つき商品の開発(募金百貨店)、物品寄付の受入、ネット募金など新しい募金手法に挑戦した。

1 社会的ニーズの把握

(1) 県及び市町社会福祉協議会との連携

- ① 共同募金の実施に先立ち静岡県社会福祉協議会に、社会福祉法第119条の規定に基づき目標額、助成の範囲等に対する意見を求めた。
- ② 市町社会福祉協議会は、地域福祉活動の主たる実施主体として、地域福祉活動計画等を定め地域ニーズに即した活動を積極的に展開しており、活動財源としての共同募金の役割も大きいことから、常に連携を図り共通認識の形成に努めた。

(2) 助成施設団体等との意見交換

助成先が抱える福祉課題について、共同募金の助成を通じて課題解決が図られるよう、現地調査の際に意見交換を行い現状と将来展望の把握に努めた。

(3) 行政機関との意見交換

最近の行政施策の動向、施設整備等の補助制度の内容等について、行政機関と意見交換を行い、公的支援制度で対応できない諸課題について情報収集に努めた。

2 助成要綱の制定

助成要綱は、共同募金運動の基礎となるものであるため、助成基準の明確化、助成事例の例示などを行い、寄付者と助成先の双方に分かりやすいものとした。

また、透明性、客観性、公平性を確保するため、助成対象となる活動主体、内容、対象経費等の助成条

件、応募方法、審査方法等について、配分委員会の意見を踏まえたうえで、理事会において決定した。

3 助成申請の受付

助成申請の募集では、助成情報の広報に努め、幅広い助成先の掘り起こしに努めた。

主な申請受付期間	令和元年 4 月 1 日(月)～5 月 15 日(火)
----------	-----------------------------

(広報方法)

- (1) 助成要綱・要領を広く住民が閲覧できるようホームページで公表
- (2) 市町社会福祉協議会、福祉施設・団体等に直接助成案内を送付
- (3) 静岡県ボランティア協会、静岡県社会福祉協議会、男女共同参画センターあざれあ、静岡県NPOセンターに、ホームページ及びメールマガジンなどへの掲載依頼
- (4) 各市町共同募金委員会ではそれぞれの地域で助成説明会を開催

4 助成計画と目標額の策定

- (1) 助成申請を基に本年度の助成計画を策定し、助成計画に経費を加えた額を今年度の募金目標額とし、配分委員会の承認後、7 月 11 日(木)開催の第 281 回理事会において決定した。

(別冊統計資料 2、3 ページ)

- (2) 社会福祉法第 119 条に基づき、募金の目標額、受配者の範囲、配分方法について、9 月 21 日(土)に静岡新聞紙上で公告した。

■ 令和元年度共同募金 申請状況・助成計画・目標額一覧

(単位:千円)

募金区分	申請状況		助成計画 ①	経費 ②	目標額 (①+②)
	件数	申請額			
一般募金	125	299,105	306,784 《295,921》	68,055	363,976
地域歳末 たすけあい募金	34	174,652	174,652 《174,652》	5,667	180,319
NHK歳末 たすけあい	申請受付期間 9 月 1 日～10 月 31 日		26,223 《22,876》	829	23,705
計	159 (170)	473,757 (481,260)	507,659 《493,449》 (514,254)	74,551 (74,551)	568,000 (570,000)

《 》書き:助成計画のうち募金が必要な額(積立金取崩等、既に財源があるものを除く)

()書き:前年度実績

(助成計画、市町別目標額は別冊統計資料 2～3ページ)

5 広報・啓発活動

- (1) 県民全体への広報

① 街頭キャンペーン活動

ア 共同募金運動への理解を深めるため、運動初日の 10 月 1 日(火)の通勤時間帯に静岡駅北口広場において、会長及び川勝知事、田辺静岡市長等による街頭キャンペーンを実施した。

募金実績	33,498 円	(前年 台風により開催中止)
------	----------	----------------

イ 34 市町共同募金委員会において、10 月 1 日の運動開始以降、駅や繁華街等(延べ314か所)において、福祉団体関係者、小学校児童・中学校・高校生徒などのボランティアによる街頭募金等の宣伝活動を行った。

- ② 運動開始前に、赤い羽根共同募金の「使途の見える化」を図り、新たな募金につなげるため、本年度申請事業の内容と昨年度の助成先を紹介する市町版各戸配布チラシを全戸配付(又は回覧)し、赤い羽根共同募金の意義と必要性をアピールした。

特に助成金の約 70%を活用している市町社会福祉協議会からの「ありがとうメッセージ」を率先して掲載し、赤い羽根共同募金が身近な地域福祉活動に役立っていることを広報した。

- ③ 静岡県健康福祉大会(10 月 24 日(木) グランシップ)において、「ありがとうメッセージ」「共同募金歴代ポスター」「子ども食堂赤い羽根バースディポスター」を掲出しPRに努めた。

- ④ 昨年度製作した「広報用ビデオ」を自治会・町内会の募金の協力依頼や民生委員への理解促進、募

金ボランティア研修などに幅広く活用し、赤い羽根共同募金の周知に努めた。

- ⑤ 各世帯、企業、学校などに各種資材を使用し広報活動を実施した。なお、赤い羽根が中国の生産事情の悪化により全国的に入手できなかったため、全国の共同募金会と協議の上、今年度に限り、原則として街頭キャンペーン以外は「ありがとうステッカー」で代替した。

資材名	作成・購入数	備考
ありがとうステッカー(赤い羽根代替資材)	146,500枚	各世帯用(購入)
市町共同募金委員会会長名領収書(冊子型)	15,540枚	戸別等市町共募領収書(作成)
市町共同募金委員会会長名領収書(バラ型)	90,715枚	〃 (作成)
静岡県共同募金委員会会長名領収書(冊子型)	73,320枚	法人等税控除用領収書(作成)
静岡県共同募金委員会会長名領収書(バラ型)	19,410枚	〃 (作成)
募金ボランティアバッジ	4,650個	募金ボランティア用(購入)
ボランティア活動の手引き(A4 三つ折り)	27,600枚	募金ボランティア用(作成)
募金ボランティア委嘱状(A5)	3,700枚	〃 (作成)
赤い羽根共同募金への寄付と税制優遇(A4 三つ折り)	34,500枚	寄付者用(作成)
静岡県知事名挨拶状(A4)	13,800枚	企業用(作成)
法人開拓用チラシ(A4)	22,800枚	〃 (作成)
学校募金ハンドブック(静岡県版)(12頁)	7,300冊	各学校(作成)
壁新聞(B2)	1,930枚	各学校(購入)
ポスター(静岡県版 B2・B3・A2)	12,700枚	各所掲出用(作成)
市町版各戸配付用チラシ(A4)	876,150枚	各世帯用(作成)
全県版パンフレット(A3)	5,000枚	〃 (作成)
静岡県商工会議所連合会会長・商工会議所会頭連名挨拶状(A4)	52,450枚	15商工会議所会報誌に同封(作成) ※うち4,400枚は会報紙に印刷
静岡県商工会連合会会長・商工会会長連名挨拶状(A4)	6,610枚	10商工会(作成)
健康福祉大会等配布用ありがとうメッセージ(A4)	2,000枚	催事用(作成)
払込取扱票	15,000枚	ゆうちょ銀行振込用(作成)
共同募金たすき	35枚	街頭用(購入)
企業向パンフレット	2,581冊	企業用(購入)
基礎パンフレット(赤い羽根リーフレット)	1,231冊	一般向(購入)
赤い羽根ブランドブック	280冊	企業用(購入)
募金箱用チラシ	1,231枚	街頭用(購入)
子ども向パンフレット	751冊	学校用(購入)
子ども用ワッペン(ドラえもん)	10,440個	〃 (購入)
子ども用クリアファイル	1,830枚	〃 (購入)
募金バッジ	96個	募金ボランティア用(購入)
共同募金のぼり旗(ポール付)	7本	街頭用(購入)
〃 (旗布のみ)	50枚	〃 (購入)
エコバッグ	29個	募金ボランティア用(購入)
ポールベン	4,620本	〃 (購入)
赤い羽根ネックストラップ	80本	役職員用(購入)
新共同募金ハンドブック	10冊	市町cc担当者用(購入)
スタンド式募金箱	15個	催事用(購入)
街頭肩掛募金箱	52個	街頭用(購入)
卓上募金箱	156個	企業用(購入)
職域募金箱	2,788個	〃 (購入)
組立式募金箱(ドラえもん)	55,575個	学校用(購入)
募金箱用チェーン	244本	募金箱用(購入)
プレミアム赤い羽根バッジ	10個	役職員用(購入)
寄付つきプレミアム赤い羽根バッジ	228個	寄付つき商品用(購入)
寄付つきクオカード	2,822枚	寄付つき商品用(購入)
寄付つき図書カード	1,633枚	寄付つき商品用(購入)

(2) ホームページによる広報

- ① 助成を受けた施設・団体からの「ありがとうメッセージ」を公開し、寄付者への謝意を表するとともに、共同募金の「使途の見える化」に努めた。

- ② 募金箱を設置しているスーパーマーケットやイベント募金に取り組む企業等を取材し、協力内容を掲載することで協力への謝意を表し、企業の社会貢献活動をアピールした。
- ③ 助成要綱、申請用紙などをダウンロードできる仕組みとし、申請者の利便性の向上を図るとともに、助成情報の周知に努めた。
- ④ 使途選択募金の参加団体が掲げる福祉課題を目標額と実績額と共に掲載して、インターネットを通じた寄付につながる仕組みを強化した。
- ⑤ 中央共同募金会とリンクして共同募金に関する情報を発信した。
- ⑥ 助成先と情報の共有化を図るため、助成先のホームページに共同募金のバナーをつけることを促しリンクを強化した。

(3) 報道機関の広報協力

- ① 募金活動開始に先立ち、令和元年8月26日、会長及び常務理事が民放テレビ局(4局)、NHK静岡放送局の代表者を訪問し、赤い羽根共同募金広報用ビデオの紹介と募金運動及び助成先紹介、プレミアム赤い羽根バッジ販売の広報協力を直接依頼した結果、次のとおり、助成先の取材を基に共同募金の意義や使いみちについて報道された。

放送局名	番組名	取材先	放送日
静岡第一テレビ	しずおかプレミアアプリ(しずぷり)	・(福)夢殿会 蛸ヶ丘保育園(静岡市) ・10/1 街頭キャンペーン(静岡駅北口駅前地下広場)	10/25
NHK静岡放送局	ラジオお知らせ	プレミアム赤い羽根バッジ紹介	随時
FM-Hi!	ひるラジ! 静岡情報館 ひるラジ! 静岡情報館	・赤い羽根共同募金運動の紹介 ・使いみちを選べる募金の紹介	11/13 1/22

- ② 中央共同募金会制作の運動啓発用のテレビスポット、ラジオスポットを各放送局(民間テレビ4局・ラジオ1局、ケーブルTV10局、コミュニティFM7局、インターネットラジオ1局)に提供し報道協力を得た。
- ③ NHK歳末たすけあいでは、NHKが、寄付者、助成先の取材を基に、共同募金の意義や使いみちの事例を報道した。

放送局名	番組名	取材先	放送日
NHK総合	「あなたのやさしさを2019～NHK 歳末たすけあい～」	(特非)えんあって(浜松市)	12/1

(4) 地元プロサッカーチームの広報協力

平成22年度からJリーグの清水エスパルスとジュビロ磐田の全面協力により、マスコットキャラクター(パルちゃん & ジュビロくん)の写真提供を受け、独自ポスターを制作している。

令和元年度は、ポスター12,700枚を制作し、町内会・自治会の掲示板、公共施設や地方銀行(静岡銀行(180枚)、清水銀行(50枚)、スルガ銀行(電子掲示板))などに掲出し啓発を行った。

《令和元年度ポスター》



(5) 「赤い羽根バルーン」による広報協力

市町共同募金委員会が行う各種キャンペーンに活用する赤い羽根バルーンへの協賛依頼を行った。(1口:50,000円 風船850個)

協賛企業名	口数	活用市町	活用行事
(株)静岡銀行	2口	静岡市	10/1 街頭募金キャンペーン 11/9 葵区地域交流まつり 11/23 駿河ふれあい福祉フェスタ
		浜松市	10/1 街頭募金キャンペーン 他7 10/20 細江地区ふれあい広場 他10

協賛企業名	口数	活用市町	活用行事
(株)スルガ銀行	2口	熱海市	10/1 街頭募金キャンペーン 11/16 第37回福祉まつり
		伊豆市	10/1 街頭募金キャンペーン 10/26 令和元年度 伊豆市社会福祉大会
(株)清水銀行	1口	静岡市	9/22 福祉のまつり2019(清水区)
静岡県民共済生活協同組合	1口	静岡市	10/1 街頭募金キャンペーン
			11/9 葵区地域交流まつり
			11/23 駿河ふれあい福祉フェスタ
計(4件)	6口		
前年度(4件)	6口		

(6) 静岡県による広報協力

- ① しずおか県民だより10月号において、スローガン等が掲載された。
- ② 県庁にポスターとのぼり(3箇所)が掲出され、募金箱(3個)が設置された。また、健康福祉センターにポスター(7箇所)が掲出された。
- ③ K-mixラジオ「K-mix RADIOKIDS」、NHK、SBS「県からのお知らせ」(データ放送)で運動開始のお知らせが放送された。

(7) 静岡県社会福祉協議会による広報協力

静岡県社会福祉協議会機関紙「社会福祉しずおか」10月に、赤い羽根共同募金運動をテーマとした特集記事が掲載され、赤い羽根共同募金の現状や、募金の使いみちや、新たな募金手法への取り組み等が紹介された。(11,300部 県内福祉施設、団体、民生委員児童委員、企業、県内小中高等学校等に配付)

6 寄付依頼活動(募金活動)

(1) 赤い羽根共同募金(令和元年10月1日から令和2年3月31日の6カ月間)

地域の福祉課題の解決を目的とする、社会福祉協議会が行う地域福祉活動支援事業、福祉施設機器整備、こども食堂誕生日会・授産製品応援事業などに対する助成を行うため、各市町の区域ごとに戸別、法人、学校募金等の募金活動を実施した。

また、参加団体が課題解決を呼び掛ける使途選択募金(使いみちを選べる募金)、ネット募金、寄付つき商品の開発(募金百貨店)、物品寄付の受け入れなど新しい募金手法にも挑戦した。

区分	目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
一般募金	363,976,000	325,831,238	89.6	▲6,386,288	98.1
(うち使途選択募金)	(6,449,000)	(4,366,036)	(67.8)	(▲356,201)	(92.5)



① 一般募金(令和元年10月1日~12月31日)

戸別募金、法人募金、学校募金、職域募金などにより円滑な募金活動を推進するため、募金推進団体開催の会合に向き、広報用ビデオ等を活用し募金活動への積極的な協力を依頼した。

ア 知事報告及び協力依頼

平成30年度の募金・助成活動の報告と10月1日の街頭キャンペーンの参加依頼を行った。

月日	内容	出席者
令和元年4月26日(金)	平成30年度共同募金の状況	会長、常務理事他

イ 戸別募金増強に向けて ー自治会連合会へお礼と協力依頼ー

月日	主催	会議名
令和元年 6 月 21 日(金)	静岡県自治会連合会	理事会

ウ 法人募金増強に向けて ー各団体へお礼と協力依頼ー

■静岡県、政令市民生委員児童委員協議会

月日	主催	会議名
令和元年 5 月 14 日(火)	静岡県民生委員児童委員協議会	理事会
令和元年 6 月 3 日(月)		総会
令和元年 5 月 13 日(月)	静岡市民生委員児童委員協議会	理事会
令和元年 6 月 25 日(火)	浜松市民生委員児童委員協議会	評議員会

■経済・産業関係団体

月日	主催	会議名
令和元年 8 月 2 日(金)	(一社)静岡県商工会議所連合会	※1 専務理事・事務局長会議
令和元年 7 月 18 日(木)	静岡県商工会連合会	※2 文書依頼
令和元年 6 月 26 日(水)	静岡県建設業協会	※3 理事会

- ※1 静岡県商工会議所連合会会長及び商工会議所会頭の自署による「共同募金協力に係る挨拶状」を県内商工会議所が発行する会報誌に同封(一部印刷)して、会員に対して社会貢献メニューとしての共同募金への協力を呼びかけた。
- ※2 静岡県商工会連合会会長及び商工会会頭の連名による「共同募金協力に係る挨拶状」を活用し、市町共同募金委員会が当該商工会の会員に対し、社会貢献メニューとしての共同募金への協力を呼びかけた。
- ※3 静岡県建設業協会の協力により、会員企業に対して社屋・建設工事現場等への「社会貢献型自動販売機」の設置を呼びかけた。また、ホームページに本会からの寄付依頼、「社会貢献型自動販売機」設置協力依頼を掲載した。

■金融機関

月日	対象	内容
令和元年 8 月 16 日(金)	県内地方銀行 3 行	手数料免除 赤い羽根バルーン協賛依頼
令和元年 8 月 16 日(金)	県民共済生活協同組合	赤い羽根バルーン協賛依頼
令和元年 8 月 21 日(水)	県信用農業協同組合連合会	手数料免除

エ 企業団体等への募金の依頼

■募金箱の設置推進

依頼先	設置数	依頼内容	設置期間
国の出先機関	131	職域募金箱設置、寄付つき商品購入※、ポスター掲出	10月～3月
静岡県庁	900	職域(封筒)募金、寄付つき商品購入※	10月～12月
静岡県庁売店	1	募金箱設置	年間
静岡県教育会館	1	募金箱設置	年間
ふじのくに健康福祉キャンペーン構成団体	91	職域募金箱設置、寄付つき商品購入※、ポスター掲出	10月～3月
静岡県内の郵便局	483	職域募金箱設置、ポスター掲出	10月～3月
(公財)静岡市まちづくり公社	1	募金箱設置	年間
株式会社サンコートラベル	1	募金箱設置	年間
真如苑(静岡精舎、浜松支部)	2	募金箱設置、ポスター掲出	年間
(株)静岡鉄道(静鉄ホテルプレジオ)	1	職域募金箱設置、寄付つき商品購入※、ポスター掲出	年間
富士山静岡空港出国ロビー免税店	1	募金箱設置	年間
全日本空輸(株)静岡空港所	1	募金箱設置、ポスター掲出	10月～12月
(株)エスパルス	3	募金箱設置、ポスター掲出	10月～12月
(株)ジュビロ	2	募金箱設置	10月～12月



依頼先	設置数	依頼内容	設置期間
静銀リース(株)	1	職域募金箱設置、寄付つき商品購入※、ポスター掲出	10月~12月
(株)タケエイメタル	1	職域募金箱設置、寄付つき商品購入※、ポスター掲出	10月~12月
(株)ゾーン・アーキテクト・スタジオ	1	職域募金箱設置、寄付つき商品購入※、ポスター掲出	10月~12月
河辺商事(株)	1	職域募金箱設置、寄付つき商品購入※、ポスター掲出	10月~12月
静銀ティーエム証券(株)	1	職域募金箱設置、寄付つき商品購入※、ポスター掲出	10月~12月
(株)静岡産業社	1	職域募金箱設置、寄付つき商品購入※、ポスター掲出	10月~12月
(株)エンチョー	57	募金箱設置、ポスター掲出	10月~12月
(株)オークワ	1	募金箱設置、ポスター掲出	10月~12月
(株)静鉄ストア	35	募金箱設置、ポスター掲出	10月~12月
(株)遠鉄ストア	31	募金箱設置、ポスター掲出	10月~12月
(株)ヒバリヤ	8	募金箱設置、ポスター掲出	10月~12月
(株)タカラ・エムシー(フードマーケット マム)	40	募金箱設置、ポスター掲出	10月~12月
(株)ユーマート(ファミリーショップUマート)	8	募金箱設置、ポスター掲出	年間
生活協同組合ユーコープ	18	募金箱設置、ポスター掲出	12月
沓間水産(株)(沼津魚がし鮨)	20	募金箱設置、ポスター掲出	年間
静岡県麺類業生活衛生同業組合	13	職域募金箱設置、寄付つき商品購入※、ポスター掲出	10月~12月
静岡県社交飲食業生活衛生同業組合	15	職域募金箱設置、寄付つき商品購入※、ポスター掲出	10月~12月
静岡県飲食業生活衛生同業組合	9	職域募金箱設置、寄付つき商品購入※、ポスター掲出	10月~12月
静岡県鮎商生活衛生同業組合	17	職域募金箱設置、寄付つき商品購入※、ポスター掲出	10月~12月
静岡県理容生活衛生同業組合	4	職域募金箱設置、寄付つき商品購入※、ポスター掲出	10月~12月
静岡県美容業生活衛生同業組合	29	職域募金箱設置、寄付つき商品購入※、ポスター掲出	10月~12月
静岡県書店商業組合	15	職域募金箱設置、寄付つき商品購入※、ポスター掲出	年間
(株)戸田書店	11	職域募金箱設置、寄付つき商品購入※、ポスター掲出	年間
(株)谷島屋	20	職域募金箱設置、寄付つき商品購入※、ポスター掲出	年間
(株)江崎書店	3	職域募金箱設置、寄付つき商品購入※、ポスター掲出	年間
MARUZEN&ジュンク堂	1	職域募金箱設置、寄付つき商品購入※、ポスター掲出	年間
計(40)	1,980		
前年度(31)	2,018		

※プレミアム赤い羽根バッジ、クオカード

■寄付金実績

依頼先	寄付額(円)	備考
国の出先機関	44,343	11機関
静岡県庁	1,014,796	455部署 (寄付金内訳:共同募金614,308円 NHK歳末たすけあい400,488円)
ふじのくに健康福祉キャンペーン構成団体	86,914	27団体
静岡県内の郵便局	489,811	344箇所
(株)静岡銀行	1,498,526	138店舗(自販機・募金箱含む)
社会福祉法人	1,405	1施設
真如苑(静岡精舎、浜松支部)	549,227	2精舎
静岡県建設業協会	1,739	1社

依頼先	寄付額(円)	備考
富士山静岡空港出国ロビー免税店	5,456	1店舗
全日本空輸(株)静岡空港所	1,720	
(株)エスパルス	173,743	8店舗(自販機・募金箱含む)
(株)ジュビロ	195	2店舗
静銀リース(株)	11,627	1社
(株)エンチャー	351,158	県内 41 店舗 326,024 円 県外 12 店舗 25,134 円(他県共募)
(株)静鉄ストア	131,231	35 店舗
(株)遠鉄ストア	100,000	31 店舗
(株)ヒバリヤ	8,582	8 店舗
(株)タカラ・エムシー(フードマーケット マム)	122,469	40 店舗
(株)ユーマート(ファミリーショップUマート)	14,873	1 店舗
生活協同組合ユーコープ	150,940	18 店舗
静岡県麺類生活衛生同業組合	5,000	2 支部
静岡県飲食業生活衛生同業組合	17,902	1 支部
静岡県理容生活衛生同業組合	31,100	7 支部
静岡県美容業生活衛生同業組合	3,000	1 支部
静岡県書店商業組合	3,142	1 支部
(株)戸田書店	38,610	3 店舗
(株)谷島屋	61,781	8 店舗
計(27)	4,919,290	
前年度(23)	4,516,714	

オ 学校募金への取り組み依頼

学校募金ハンドブック(静岡県版)を県内の小学校・中学校・高等学校に4冊ずつ配付し、教育活動の一環としての共同募金運動に取り組むよう依頼した。

月日	主催	対象
平成 31 年 4 月 23 日(火)	静岡県私学協会	学校法人理事長・校長
平成 31 年 4 月 11 日(木)	静岡市教育委員会	市立小、中学校長
令和元年 5 月 30 日(木)	静岡県高等学校長協会	高等学校長理事(理事会)
資料の配布を依頼	浜松市教育委員会	市立小、中学校長
	静岡市教育委員会	市立小、中学校長
	静岡県教育委員会	市町教育委員長・教育長(政令市含む)
		公立小、中学校長(政令市除く)
		公立高、特別支援学校長(市立高含む)

カ その他の依頼先

- 東日本旅客鉄道(株)横浜支社の承認をうけ 10 月から 12 月の間、熱海駅(37日間)、伊東駅(17 日間)の構内での街頭募金を実施した
- (一社)静岡県医師会の協力により、毎月発行の「静岡県医師会報」(10、11、12 月号)に本学会長署名入りの寄付依頼を掲載し会員に対し募金を呼びかけた。
- 静岡県中小企業団体中央会の協力により、静岡県中小企業団体中央会のホームページに本学会長署名入りの寄付依頼を掲載し組合員に対し募金を呼びかけた。

キ 組立式募金箱、職域募金箱、街頭肩掛募金箱など 5 種類の募金箱58,516個(前年度63,044 個)を市町共同募金委員会に無償で配布し、自発的寄付の環境を整えた。

② 用途選択募金(テーマ型募金)(令和 2 年 1 月 1 日～3 月 31 日)

用途選択募金「使いみちを選べる募金」は、地域の福祉課題をテーマに持つ団体が、共同募金会と協働して、課題を解決する必要性を広くアピールしながら、自ら募金の協力を呼び掛けるもので、寄付者が使いみちを選択できる新たな募金の仕組みである。

テーマに寄せられた寄付金は、共同募金会から当該団体の支援活動に全額助成(事務経費:本会経費 2%、クレジットカード手数料 3%を除く)され、課題解決へとつながる財源として活用された。

平成25年度から始め、今回で7回目となった今年の募金は、3月以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響で十分な募金活動が行えず苦戦し、昨年度を下回る結果となった。

	団体名	テーマ	目標額 (円)	寄付 件数	実績額 (円)	助成額 (円)
1	特定非営利活動法人 駒越地区社会福祉協議会	買物(移動)支援事業	480,000	111	556,045	544,925
2	岡地区社会福祉協議会	岡福祉支え合いの会 「ご近所見守りお手伝い事業」	205,000	98	223,436	218,968
3	特定非営利活動法人 静岡県補助犬支援センター	身体障害者補助犬育成 継続事業	664,000	74	425,365	416,708
4	特定非営利活動法人 てくてく	ひきこもり当事者とそ の家族を対象とした居 場所づくり事業	728,000	36	344,674	337,781
5	特定非営利活動法人 サンフォレスト	ひきこもり支援・相談 スタッフ初級養成講座 開催事業	200,000	39	157,130	153,898
6	社会福祉法人 静岡いのちの電話	”一人で悩まないで 話してみませんか”の ポスター作成事業	103,000	28	139,647	136,855
7	社会福祉法人 浜松いのちの電話	「若者のいのちの電話カ ード」配布事業	368,000	27	207,000	202,860
8	特定非営利活動法人 オールしずおかベストコミ ュニティ	障がいのある人への支 援力向上研修事業	205,000	15	149,249	146,265
9	NPO 法人 サステナブルネット	やらまいか子ども食堂 事業	1,437,000	11	256,000	250,580
10	特定非営利活動法人 湖西なるっパスクール	次代を担う自立した心 豊かな青少年を育成す る事業	286,000	140	384,000	376,140
11	特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会	中高校生・大学生と考 える共生社会づくり	817,000	89	871,915	854,477
12	社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会	ふじのくに生活困窮者 自立支援基金事業	613,000	66	417,332	408,986
13	特定非営利活動法人 POPOLO	静岡POPOLOハウス 運営事業	343,000	18	234,243	229,259
計 (13)			6,449,000	752	4,366,036	4,277,702
前年度(14)			5,979,000	606	4,722,237	4,626,565

(詳細は別冊統計資料 28ページ)

③ 新しい募金手法による寄付の受入(年間を通した寄付)

ア 社会貢献型自動販売機による寄付

売上げの一部が共同募金に寄付される清涼飲料水自動販売機の設置を推進した。

飲料会社・業者	設置台数	寄付額(円)
ダイドードリンコ(株)	151	1,731,660
ユニヴァーサル商事(株)	52	277,201
ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)	8	84,387
(株)伊藤園	54	632,231
コカ・コーラボトラーズジャパン(株)	50	244,494
(特非)ハートフル福祉募金	16	558,473
東海ビバレッジサービス(株)	66	503,452
サントリーフーズ(株)	2	27,612
ナショナル・ベンディング(株)	5	47,205
(株)ジャパンビバレッジホールディングス	34	174,089
サントリービバレッジサービス(株)	17	111,367
(株)アペックス	2	68,747

飲料会社・業者	設置台数	寄付額(円)
アサヒ飲料販売(株)	8	31,334
中央静岡ヤクルト販売(株)	4	18,091
(株)ツキジベンディング	12	32,054
(株)葉堂	3	9,716
フクロイ乳業(株)	2	14,853
アシード(株)	1	12,617
トーヨーベンディング(株)	1	29,298
(株)富士テレネット	12	11,227
その他	10	15,960
計	510	4,636,068
前年度	460	4,678,273

※設置台数は、令和2年3月31日現在(設置先別台数一覧は別冊統計資料11ページ)

イ 物品による寄付

会社移転など伴い不要となった事務機器やお祝いの胡蝶蘭などの物品を積極的に共同募金に寄付として受け入れ、その物品を社会福祉施設に助成するとともに、物品の評価額を寄付金として扱い、社会福祉事業等へ貢献する新しい募金手法として、企業の社会貢献活動の促進につなげた。

寄付者	寄付物品	数量	寄付額(円)
こだいらクリニック	鉢植(胡蝶蘭)	4鉢	120,000
東洋海運(株)	備品(事務機器)	38点	593,098
矢崎化工(株)	備品(事務機器)	5点	5
アサヒ飲料(株)	飲料水(カルピス他)	8箱	41,040
静岡第一テレビ	鉢植(胡蝶蘭)	23鉢	690,000
はごろもフーズ(株)	鉢植(胡蝶蘭)	39鉢	1,170,000
(株)大成住宅	備品(事務機器)	23点	127,530
シーラック(株)	食品(鯉節ほか)	741点	319,350
計	8件		3,061,023
前年度	4件		4,000,248

(助成一覧は別冊統計資料24～27ページ)

ウ 寄付つき商品による寄付

(ア) 募金百貨店プロジェクト

募金百貨店は“赤い羽根”共同募金会が行う寄付つき商品を扱う仮想の百貨店である。募金百貨店の登録企業が企画・販売する“寄付つき商品”の売り上げの一部が赤い羽根共同募金に寄付され、県内の福祉活動の支援に役立てられる。

登録企業にとっては、地域社会に貢献するしくみで、記念すべき商品第1号は、令和2年3月28日、新型コロナウイルスに負けないように、(株)清水エスパルスが企画・販売する「エスパルスオリジナル洗えるマスク」。寄付金は新型コロナ対策フードバンク応援事業を通じて、生活困窮などにより支援が必要な方に食品を無償で提供するフードバンク事業に活用された。

■登録商品一覧

	第1号	第2号
登録企業	(株)エスパルス	はごろもフーズ(株)
登録商品	エスパルスオリジナル洗えるマスク	ガチャガチャ「缶詰リングコレクション」
価格/数量	1,000円(税込)/2,000枚	300円/1,000個
寄付金額	1,124,454円(売上の約56%)	販売中のため未確定
寄付先	新型コロナ対策フードバンク応援事業	指定なし(一般募金)
販売期間	令和2年3月28日～(6日間で完売)	令和2年1月21日～
販売場所	エスパルスオフィシャルオンラインショップ	はごろもフーズ(株)本社他

(イ) プレミアム赤い羽根バッジによる寄付

共同募金のシンボルである「赤い羽根」に親しみを持っていただくとともに、共同募金運動の認知度を高めるために、平成29年度から寄付つき商品として「プレミアム赤い羽根バッジ」を取り扱い、着用を推進した。 【頒布価格】1,000円 【購入元】中央共同募金会

窓口	個数	寄付額(円)	備考
本会	163	78,875	ゆうちょ銀行払込等による取扱い ・寄付額485円×143個=69,355円 ・寄付額476円×20個=9,520円
静岡県庁東館2階喫茶びあ～	47	22,732	(福)明光會による窓口取扱業務の協力 ・寄付額485円×40個=19,400円 ・寄付額476円×7個=3,332円
計	210	101,607	
前年度	262	127,070	

(ウ) その他の寄付つき商品による寄付

寄付つき商品	枚数	寄付額(円)	備考
寄付つきクオカード 【頒布価格】1,000円	2,822	1,104,720	寄付金396円×1,756枚=695,376円 寄付額384円×1,066枚=409,344円
寄付つき図書カード 【頒布価格】1,000円	1,633	665,295	寄付金410円×1,248枚=511,680円 寄付額399円×385枚=153,615円
計	4,455	1,770,015	
前年度	4,426	1,777,476	

エ 中央共同募金会受付の静岡県分寄付金(ネット募金を含む)

特に、ネット募金(本会ホームページからの募金)は、年度後半に入力画面の簡易化を図り、だれもが寄付しやすい環境を整えたが、PR不足で十分な結果には至らなかった。

寄 付 者	件数	寄付額(円)
(株)マルハンユニオン	1	857,988
東洋羽毛工業(株)	1	14,800
(株)丸八真綿販売	1	20,753
ゼブラ(株)	1	22
(株)NTTトラベルサービス	1	7,606
(株)ガイア	2	13,699
ネット募金	7	59,832
ふるさとサポート募金	7	27,000
ペイジー(ネットバンク)	-	42
ファミポート	-	29,000
ソフトバンク「つながる募金」	-	3,790
その他	12	72,735
計	26	1,047,435
前年度	47	2,044,755

オ 新たな募金への協力依頼

依頼先	開催時期	参加者
(株)四葉商会(静岡市)	5月16日(木)	物品寄付の取り組み依頼
小糸製作所(株)(静岡市)	8月1日(木)	
NTTビジネスアソシエ西日本(静岡市)	1月16日(木)	
東海電子印刷(株)(浜松市)	2月3日(月)	寄付つき商品の取り組み依頼

(2) 地域歳末たすけあい募金(令和元年12月1日から12月31日までの1カ月間)

市町社会福祉協議会が実施する地域歳末支援事業のため各市町の区域ごとに戸別、法人募金等の募金活動を実施した。

区分	目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
地域歳末たすけあい募金	180,319,000	186,629,739	103.5	▲3,962,132	98.0

(3) NHK歳末たすけあい(令和元年12月1日から12月25日までの25日間)

日本放送協会、中央共同募金会、NHK厚生文化事業団が、生活困窮者等の年末年始支援、児童養護施設等利用者の就職等自立支援を行うために募金活動を実施した。

- ① 日本放送協会静岡放送局はテレビ番組やラジオ放送の中で募金活動と呼び掛けるとともに、静岡放送局に募金受付窓口を設けた。
- ② 中央共同募金会を通じて寄付経験者に寄付依頼のダイレクトメールを発送した。
- ③ 運動初日に、静岡精華幼稚園の協力を得て、静岡放送局、日本赤十字社静岡県支部(NHK海外たすけあい)とともに受付窓口オープンキャンペーンを行った。

区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
NHK歳末たすけあい	23,705,000	16,242,566	68.6	▲ 974,554	94.4

■ 受付状況

受付窓口	件数	寄付額(円)	内 訳		
			取り扱い	件数	寄付額(円)
中央共同募金会	1,103	13,339,266	県下各郵便局、信用金庫ほか		
NHK静岡放送局 静岡県共同募金会	89	1,076,119			
	294	1,826,881	地方銀行3行扱い	18	1,106,931
			農協扱い	46	217,107
			漁協扱い	1	5,000
			事務局扱い 他	229	497,843
県内窓口	383	2,903,000			
計	1,486	16,242,266			
前年度	1,637	17,217,120			

第2 助成活動

年度当初に受け付けた施設・団体等(社会福祉協議会を含む)からの助成申請については、募金活動終了後に会長、配分委員会委員による現地調査を実施した上で助成案を策定し、配分委員会での審議・承認を得て、3月12日の第283回理事会において、次のとおり決定し助成した。(令和2年5月8日公告)
助成に当たっては、次の募金につなげるため、助成先に対して「使途の見える化」の徹底に努めた。

1 共同募金による助成

(1) 令和元年度共同募金による助成

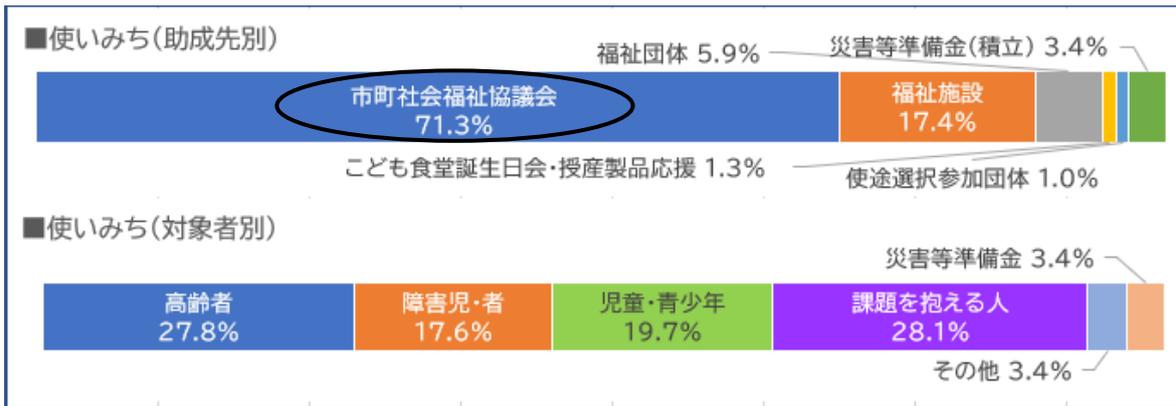
令和元年度共同募金運動による寄付金を財源に次の助成(元年度及び2年度実施事業)を行った。なお、市町社会福祉協議会への助成が助成金額の71.3%を占めた。(単位:円)

区分	種別	助成先	件数	元年度実施事業助成額	2年度実施事業助成額	計		
一般募金	地域	地域福祉活動支援事業	市町社会福祉協議会	35		147,795,697	147,795,697	
	広域助成枠	地域福祉活動支援事業	市町社会福祉協議会(機器整備)	4		4,725,000	4,725,000	
			広域福祉活動団体	18		25,394,000	25,394,000	
		助成種別	福祉施設機器整備事業(寄付物品助成を含む)	社会福祉施設・団体	113	3,381,023	60,754,000	64,135,023
			子ども食堂誕生日会・授産製品応援事業	障害者の就労支援団体	1		6,000,000	6,000,000
			使途選択事業	参加団体	13		4,277,702	4,277,702
		助成種別計			149	3,381,023	101,150,702	104,531,725
	災害等準備金(積立)		—			15,700,000	15,700,000	
	広域計			149	3,381,023	116,850,702	120,231,725	
	小計			184	3,381,023	264,646,399	268,027,422	
地域歳末たすけあい募金	地域歳末たすけあい事業	市町社会福祉協議会	34	136,524,551	0	136,524,551		
	地域福祉活動支援事業(翌年度)	市町社会福祉協議会	(30)		44,430,657	44,430,657		
	小計			34	136,524,551	44,430,657	180,955,208	
NHK歳末たすけあい	年末年始支援活動枠	福祉活動団体	31	2,090,000	0	2,090,000		
	年末年始活動枠・年末年始施設利用者支援枠	児童福祉施設、更生施設他	46	13,520,000	0	13,520,000		
	就職等自立支援枠	児童養護施設、自立援助ホーム、里親等	1		3,573,000	3,573,000		
	小計			78	15,610,000	3,573,000	19,183,000	
合計			296	155,515,574	312,650,056	468,165,630		
前年度			271	159,889,178	323,885,851	483,775,029		

※財源は、令和元年度の募金額に加え、災害等準備金取崩金10,863,293円(平成27年度積立分)を充当した。

()書きは市町社会福祉協議会の歳末支援活動助成との重複件数

(詳細は別冊統計資料 12～33ページ)



2 緊急等助成資金による助成

平成 27 年度末に繰越金が多額になったため、所轄庁(当時は静岡県)の指導により、目的を明確にした基金として積み立て計画的に助成に回すこととし、従前からあった積立金「緊急助成資金」に、繰越金のうち 1 億 2 千万円を積み増して、名称も「緊急等助成資金」に改めた。

今年度は、災害緊急助成実施要領に基づき、この緊急等助成資金を活用して、次の助成を行った。

(1) 災害による罹災者(低所得者等)に対する見舞金

令和元年 9 月 8 日の令和元年台風第 15 号災害の被災者に対して、災害緊急助成実施要領第 2 条第 2 項(2)及び災害見舞金贈呈要領第 2 条に基づき、緊急等助成資金を財源に見舞金を贈呈した。

申請社協名	災害	年齢 職業	福祉票		人員	被害 状況	見舞金額 (円)
			対象区分	分類			
伊東市 社会福祉協議会	R1.9.8 台風第 15 号災害	77 歳 無職	高齢者	ひとり 暮らし	1 名	住家 半壊	5,000

(2) 災害ボランティアセンターの活動拠点事務所に係る経費

令和元年 10 月 12 日の令和元年台風第 19 号災害に伴い、災害ボランティア等の活動拠点事務所となる災害ボランティアセンターを立ち上げた小山町社会福祉協議会に対して、災害ボランティアセンターに係る経費を助成した。

なお、小山町には災害救助法が適用されなかったため、災害等準備金ではなく災害緊急助成実施要領第 2 条第 2 項(3)②に基づき、緊急等助成資金の取崩額を財源に助成した。

助成先	使途の内容	助成額(円)
小山町社会福祉協議会	災害ボランティアセンター(10 日間) ・軽トラック借り上げほか	321,614

(詳細は別冊統計資料 38 ページ)

(3) 共同募金運動 70 周年記念助成

共同募金運動 70 周年記念助成として、次の助成を実施した。

なお、共同募金運動 70 周年記念助成は今年度で事業終了となった。

① 災害ボランティア活動用資機材助成整備 ⇒ 3 年間延長

助成先	事業内容	件数	助成額(円)
静岡市社会福祉協議会 ほか	災害活動用資機材 収納庫	12 件	5,494,774
前年度		15 件	9,396,738

(助成一覧は別冊統計資料 34～35ページ)

② 福祉施設機器整備(当年度機器整備) ⇒ 今年度で終了

助成先	事業内容	件数	助成額(円)
子どもディサービス ウルルほか	令和元年度に認可施設を創 設又は増改築する福祉施設 の機器整備	6 件	9,995,000
前年度		12 件	27,137,000

(助成一覧は別冊統計資料 36～37ページ)

(4) 新型コロナ対策フードバンク応援事業

令和2年3月、新型コロナウイルスの感染拡大により、全国的に学校休校や各種活動の自粛等が実施され、ひとり親世帯をはじめ生活困窮に陥る方が増えるとともに、学校給食の休止等により食品ロスも増加し社会問題化した。

そこで生活困窮者に対する支援及び食品ロスの削減を図るため、食品を無償で提供するフードバンク事業に対して、次の助成を決定した。(会計処理年度は令和2年度)

助成先	使途の内容	助成額(円)
(特非) フードバンクふじのくに	・寄贈が期待されない食品や生活必需品などの購入費 ・配送や一時保管に係る経費及び交通費 ・ニーズ把握及び連絡調整に係る経費 ・その他、本会が認める支援活動に必要な経費	3,000,000

■緊急等助成資金残高

(単位:円)

前年度末 残高	当年度積立額 (戻入額を含む)	当年度取崩額	当年度末 残高
167,665,004	精算後戻入額 13,000	15,816,388	151,861,616

※当基金の適正規模は100,000千円程度と想定。

3 助成効果の測定と監査の実施

助成先から助成事業完了後に「使途実施報告書・交付請求書」の提出を受け、書面により、助成効果の測定と実施状況の監査を行った。

また、福祉施設機器整備のうち高額助成案件(200万円以上)については、事務局職員による実地監査を行い、現地において実施状況を確認するとともに、助成効果の測定を行った。

(1) 県・市町社会福祉協議会による地域福祉活動

- ① 県及び市町社会福祉協議会(抽出で5市町)について、配分委員が直接事務局を訪問し、助成事業の実施状況を調査し、概ね妥当な状況であった。
- ② 市町社会福祉協議会への助成は、「使途が見えない」との批判があることから、今後の助成に当たっては、支援対象者への直接支援など助成事業にふさわしい内容とするよう指導をした。

実地調査実施社協	三島市、沼津市、御前崎市、掛川市、函南町
----------	----------------------

(2) 福祉施設機器整備(修繕含む)

- ① 備品・車両等の更新又は整備は、対象者に対する福祉サービスの向上につながるもので、概ね申請の目的が達成されていた。
- ② 経年劣化等による施設設備整備は、設置者において年次計画を立てて実施するものであり、助成に当たっては当該経営主体の財政状況を勘案する必要がある。
- ③ 見積合せ、契約などに関する事務では、法人の規定に従って行われていないものがあったため、文書指摘を行い、改善措置状況の報告を求めた。

■実地監査実施状況(助成額200万円以上)

事業実施年度	助成年度	助成区分	件数	助成金額(千円)	指摘事項
平成30年	平成29年	福祉施設機器整備	2	5,241	文書指摘1件(見積・契約)
	平成30年	当年度機器整備	2	5,412	文書指摘1件(見積・契約)
令和元年	平成30年	福祉施設機器整備	1	2,802	指摘なし

(3) 広域活動団体による地域福祉活動

講座、研修等は、福祉サービスの向上につながる人材養成やネットワーク構築に効果が見られた。

第3 その他の活動

1 災害等準備金の状況

本県の災害ボランティア活動等(災害救助法が適用された災害が対象)を支援するため、募金総額の3%を3年間積み立てている災害等準備金の状況は次のとおりである。

(1) 令和元年度の準備金異動(取崩・積立) (単位:円)

前年度末 残高	当年度取崩額 (助成額、拠出額を含む)	当年度積立額 (戻入額を含む)	当年度末 残高
51,830,000	13,380,462	23,223,293	61,672,831
	【内訳】 ・H28 積立分からの助成 県内の台風第 19 号災 害ボランティアセンター 活動拠点事務所に助成 2,517,169 円 ・H27積立分の取崩 10,863,293 円	【内訳】 ・R1 積立分 R1 募金総額の 3% 15,700,000 円 ・H27 積立分の戻入 H30 他県の豪雨災害へ の拠出分の戻入分 7,523,293 円	【内訳】 H28 積立 13,752 千円 H29 積立 16,130 千円 H30 積立 16,090 千円 R1 積立 15,700千円

(2) 災害ボランティアセンターの活動拠点事務所に係る経費の助成

令和元年 10 月 12 日の令和元年台風第 19 号災害に伴い、災害救助法が適用された地域において、災害ボランティア等の活動拠点事務所となる災害ボランティアセンターを立ち上げた市町社会福祉協議会等に対して、災害支援制度実施要領 2.(2)に基づき、災害等準備金(平成 28 年度積立分)を財源に、災害ボランティアセンターに係る経費を助成した。

助成先	用途の内容	助成額(円)
伊豆の国市社会福祉協議会	災害ボランティアセンター(18 日間) ・活動用具(送風機)ほか	923,427
函南町社会福祉協議会	災害ボランティアセンター(26 日間) ・派遣先調査車両燃料ほか	49,841
静岡県社会福祉協議会	災害ボランティアセンター(19 日間) ・活動用具(高圧洗浄機)ほか	1,543,901
計 3 団体		2,517,169

(詳細は別冊統計資料 39 ページ)

(3) 災害等準備金のうち積立後 3 年が経過した平成27年度積立分 10,863 千円は取崩し、令和元年度助成財源とした。

(4) 年度末には、令和元年度分として 15,700 千円を新たに積み立てた。

2 災害義援金の状況

(1) 静岡県の災害義援金

令和元年 10 月 12 日に伊豆半島に上陸した台風第 19 号の記録的な大雨により、伊豆の国市及び函南町に災害救助法が適用されるなど、静岡県内各地において甚大な被害が発生した。

これを受けて静岡県共同募金会では、静岡県及び日本赤十字社静岡県支部と調整の上、この災害により静岡県で被災された方々を支援することを目的に義援金を募集した。義援金は県から市町を通じて被災者に直接配分された。(中央共同募金会からの業務支援資金 63,010 円)

① 概要

名 称	令和元年台風第 19 号災害静岡県義援金
受 付 期 間	令和元年 10 月 18 日(金)～令和2年3月 31 日(火)
受 付 実 施 団 体	日本赤十字社静岡県支部及び社会福祉法人静岡県共同募金会
受 付 方 法	指定金融口座への振込又は各機関の窓口

② 受付状況(令和2年3月31日現在)

受付実施団体	件数(件)	種別(件)		受入金額(円)		
日本赤十字社 静岡県支部	1,366	振込	1,181	153,729,924	157,103,507	
			(うち 日本赤十字社本社扱い)	6		49,457,917
		窓口	185	3,373,583		
静岡県 共同募金会	630	振込	ゆうちょ	522	23,898,927	79,486,735
			地銀	103	55,416,708	
		(うち 中央共同募金会扱い)	5	4,819,927		
		窓口	5	171,100		
		合計	1,996	振込	1,806	
窓口	19	3,544,683				

③ 配分状況(令和2年3月31日現在)

回数	配分額(円)	備考
第1回配分	97,260,000	27市町 1,466件 第1回配分委員会(令和元年12月26日開催)で 下記の配分基準により配分
第2回配分	—	第2回配分委員会(令和2年5月開催予定)
計	—	

(第1回配分の配分基準)

配分対象被害	配分割合	配分単価(円)
(1) 死亡・行方不明者	1	600,000
(2) 重傷者	0.5	300,000
(3) 全壊	1	600,000
(4) 半壊	0.5	300,000
(5) 一部損壊	0.1	60,000
(6) 床上浸水	0.1	60,000

(2) 全国の災害義援金

① 義援金募集要綱を市町社会福祉協議会に周知した。

	義援金の名称	募集共同 募金会	受付期間
1	平成28年熊本地震義援金	熊本県	平成28年4月15日～令和3年3月31日
2	平成30年7月豪雨岡山県災害義援金	岡山県	平成30年7月10日～令和2年6月30日
	愛媛県豪雨災害義援金	愛媛県	平成30年7月11日～令和2年6月30日
	平成30年7月広島県豪雨災害義援金	広島県	平成30年7月12日～令和2年6月30日
	平成30年7月豪雨災害義援金	中央	平成30年7月10日～令和2年6月30日
3	平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	北海道	平成30年9月12日～令和2年9月30日
4	令和元年8月佐賀県豪雨災害義援金	佐賀県	令和元年9月2日～令和2年8月31日
5	京都府京都市伏見区で発生した放火事件に係る 被害者義援金	京都府	令和元年9月9日～令和元年10月31日
6	令和元年 台風15号・台風19号・大雨千葉県災 害義援金	千葉県	令和元年9月17日～令和2年6月30日
7	令和元年台風第19号災害義援金	茨城県	令和元年10月16日～令和2年1月31日
	令和元年台風第19号栃木県災害義援金	栃木県	令和元年10月17日～令和2年3月31日
	令和元年台風第19号災害義援金	岩手県	令和元年10月18日～令和2年3月31日
	令和元年台風第19号災害義援金	宮城県	令和元年10月18日～令和3年3月31日
	令和元年台風第19号災害義援金	長野県	令和元年10月16日～令和3年3月31日
	令和元年台風第19号福島県災害義援金	福島県	令和元年10月21日～令和3年3月31日
	令和元年台風第19号群馬県災害義援金	群馬県	令和元年10月21日～令和2年3月31日
	令和元年台風第19号埼玉県災害義援金	埼玉県	令和元年10月17日～令和2年3月31日
	令和元年台風第19号災害義援金	神奈川県	令和元年10月25日～令和2年1月31日
	令和元年台風第19号災害義援金	中央	令和元年10月16日～令和3年3月31日

② 災害義援金を受付け募集共同募金会へ送付した。

	義援金の名称	募集共同募金会	件数	金額(円)
1	平成30年7月豪雨災害義援金	中央共同募金会	1件	1,316
2	令和元年8月佐賀県豪雨災害義援金	佐賀県共同募金会	1件	20,159
計	2件		2件	21,475
	前年度 2件		9件	263,231

3 共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金の受入れと助成

(1) 特定寄付金、指定寄付金

税制上の優遇措置を希望する共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金を次のとおり受け入れ、助成を行った。

寄 付 者 (所在地)	寄付額 (円)	助成額 (円)	助成先 施設・団体名	使途指定内容
(実績なし)				
前年度(12)	41,030,398	40,112,861	(2)	

※審査事務費は助成額の3%以内

(2) その他の寄付金

中央共同募金会の赤い羽根福祉基金を次のとおり受け入れ、助成を行った。

寄 付 者 (所在地)	寄付額 (円)	助成額 (円)	助成先 施設・団体名	使途指定内容
(実績なし)				
前年度(2)	400,000	400,000		

4 他団体助成事業の受託事務

(1) 公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成事業の推薦事務

中央競馬馬主社会福祉財団から中央共同募金会を通じて委託を受け、当財団の助成を要望する施設を募集し審査のうえ、次のとおり推薦した。(業務委託費 205,000円)

施設名	施設所在地	助成額 (円)	使途指定内容
幼保連携型認定こども園子育てセンターきぶね (幼保連携型認定こども園)	浜松市	830,000	中庭人工芝改修工事
えくらん(生活介護事業所)	浜松市	2,440,000	送迎用車両
ケアハウス 富士の里(軽費老人ホーム)	富士市	1,760,000	椅子 60脚、テーブル 12台
計 (3)		5,030,000	
前年度 (4)		4,810,000	

(2) 公益財団法人車両競技公益資金記念財団助成事業の申請受付事務

車両競技公益資金記念財団から中央共同募金会を通じて委託を受け、当財団の助成を要望する施設・団体の募集及び申請書の受付業務を代行した。(業務委託費 125,000円)

施設・団体名	施設・団体所在地	助成額 (円)	使途指定内容
ほがらかサロン	浜松市	120,300	テレビ
サロン銀杏の郷	磐田市	不採択	ノートパソコン等
点訳グループかたつむり	沼津市	900,000	点字プリンター
サロンほっこり	藤枝市	186,100	ワイヤレスアンプ等
益津下いきいきランド	藤枝市	85,900	長椅子、テーブル
計 (5)		1,292,300	
前年度 (10)		4,165,400	

5 顕彰活動

(1) 令和元年度全国社会福祉大会における表彰

令和元年11月22日(金)、メルパルクホール(東京都港区)において、令和元年度全国社会福祉大会が開催され本県関係では次のとおり表彰された。

① 厚生労働大臣表彰(1件)

表彰区分	件数	条件	備考
共同募金運動奉仕団体	1団体	20年以上	

② 中央共同募金会会長表彰(7件)

表彰区分	件数	条件	備考
奉仕功労者	3名	10年以上	
優良地区・団体	4団体	10年以上	

(2) 令和元年度静岡県健康福祉大会の開催と表彰

令和元年10月24日(木)、グランシップ(静岡市駿河区)において、ふじのくに健康福祉キャンペーン推進協議会の主催による令和元年度静岡県健康福祉大会を開催し、次のとおり表彰した。

① 静岡県知事褒賞(1件)

表彰区分	件数	条件	備考
共同募金運動推進者	1団体	15年以上	

② 静岡県共同募金会会長表彰(42件)

表彰区分	件数	条件	備考
募金ボランティア個人	5名	3年以上	
募金ボランティア団体	35団体	〃	
募金ボランティア地区	2地区	〃	

(3) その他の顕彰(174件)

表彰区分	件数	条件	備考
厚生労働大臣感謝状	3件	個人100万円以上、 団体300万円以上	個人1件、団体2件
中央共同募金会会長感謝楯	2件	個人50万円以上、 団体100万円以上	団体2件
中央共同募金会会長感謝状	5件	個人20万円以上、 団体60万円以上	個人2件、団体3件
静岡県共同募金会会長感謝状	164件	5万円以上	

第3部 法人運営

第1 会務の運営

1 理事会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第 277 回】 令和元年 5 月 27 日(月) 静岡県総合社会福祉会館 集会室 (定足数) 総数 11 名(定員 9~11 名) 出席者 10 名 ※監事 2 名出席	【報告事項】 (1)定款第 24 条ただし書きにより会長が専決した事項の報告について ①平成 30 年度用途選択募金の助成 ②平成 30 年度共同募金(一般募金)の寄付物品の助成 ③令和元年度共同募金(一般募金)の寄付物品の助成 (2)共同募金運動 70 年答申に基づく推進方策の具体的な取組み状況について 【決議事項】 第1号議案 平成 30 年度事業報告の承認について 第2号議案 平成 30 年度計算書類等の承認について 第3号議案 評議員選任・解任委員会委員の補欠選任について 第4号議案 評議員候補者(補欠)の提案及び評議員選任・解任委員会の招集について 第5号議案 理事候補者の提案について 第6号議案 監事候補者の提案について 第 7 号議案 配分委員会委員の補欠選任について 第 8 号議案 定時評議員会の招集について 第 9 号議案 令和元年度共同募金(一般募金)広域目標額について	・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議
【第 278 回】(決議の省略) 令和元年 6 月 7 日(金) 総数 11 名(定員 9~11 名) 同意 11 名(書面) ※監事 2 名異議なし(書面)	【決議事項】 第 1 号議案 理事候補者の変更について	・原案どおり決議
【第 279 回】 令和元年 6 月 20 日(木) 静岡県総合社会福祉会館 103 会議室 (定足数) 総数 10 名(定員 9~11 名) 出席者 9 名 ※監事 2 名出席	【報告事項】 (1)評議員の補欠選任について (2)第 168 回評議員会(令和元年度定時評議員会)の結果について 【決議事項】 第1号議案 会長、副会長及び常務理事の選定について 第2号議案 配分委員会委員の補欠選任について 第3号議案 外部監査契約の継続について	会 長 後藤康雄 副会長 後藤昌弘 副会長 瀧 義弘 副会長 松下悦郎 常務理事 大野彰彦 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議
【第 280 回】(決議の省略) 令和元年 6 月 26 日(水) 総数 10 名(定員 9~11 名) 同意 10 名(書面) ※監事 2 名異議なし(書面)	【決議事項】 第 1 号議案 理事候補者の提案及び評議員会の招集について	・原案どおり決議
【第 281 回】 令和元年 7 月 11 日(木) 静岡県総合社会福祉会館 101 会議室 (定足数) 総数 11 名(定員 9~11 名) 出席者 9 名 ※監事 2 名出席	【報告事項】 (1)会長及び常務理事の職務執行状況の報告について (2)定款第 24 条ただし書きにより会長が専決した事項の報告について ①令和元年度(公財)中央競馬馬主社会福祉財団助成要望団体の推薦 (3)「赤い羽根」生産不足への対応について (4)共同募金への物品による寄付の取り扱いについて 【決議事項】	

2 評議員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第168回(定時)】 令和元年6月20日(木) 静岡県総合社会福祉会館 101会議室 (定足数) 総数14名(定員12~14名) 出席者9名 ※会長、常務理事出席 ※監事2名出席	【報告事項】 (1)平成30年度事業報告について 【決議事項】 第1号議案 平成30年度計算書類等の承認について 第2号議案 理事10名の選任について 第3号議案 監事2名の選任について	・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議
【第169回】(決議の省略) 令和元年7月3日(水) 総数14名(定員12~14名) 同意14名(書面)	【決議事項】 第1号議案 理事の選任について	・原案どおり決議
【第170回】(決議の省略) 令和2年2月19日(水) 総数14名(定員12~14名) 同意14名(書面)	【決議事項】 第1号議案 理事の補欠選任について	・原案どおり決議

3 監事監査

開催時期・会場	審議事項	備考
令和元年5月17日(金) 静岡県総合社会福祉会館 集会室 監事2名出席(定員2名)	1 令和元年度の理事の職務の執行の監査 2 令和元年度の業務及び財産の状況の監査 ※公認会計士兼高則之氏による「独立監査人の監査報告書」 は令和元年6月20日受理	事業の適正・計算関係書類及び財産目録の適正が認められた。

4 評議員選任・解任委員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第6回】 令和元年5月27日(月) 静岡県総合社会福祉会館 集会室 (定足数) 総数5名(定員5名) 出席者5名	【審議事項】 第1号議案 評議員の補欠選任について	・原案どおり可決

5 配分委員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第57回】 令和2年7月2日(火) 静岡県総合社会福祉会館 5階会議室 (定足数) 総数13名(定員13名) 出席者11名	【報告事項】 (1)令和元年度共同募金運動の実績について (2)令和元年度共同募金(一般募金)の寄付物品の助成について (3)令和元年度共同募金(一般募金)の寄付物品の助成について (4)令和元年度使途選択募金による助成について (5)共同募金への物品による寄付の取り扱いについて 【審議事項】 第1号議案 委員長の選出について 第2号議案 令和元年度福祉施設機器整備事業(当年度機器整備)の助成について 第3号議案 令和元年7月豪雨災害抛入金(災害等準備金)の返還金の使途について	・委員長 後藤昌弘 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決

開催時期・会場	審議事項	備考
	第4号議案 令和元年度(第 69 回)NHK歳末たすけあいの助成方針について 第5号議案 令和元年度使途選択募金の実施について 第6号議案 令和元年度共同募金の助成計画について 第7号議案 令和元年度(公財)中央競馬馬主社会福祉財団助成事業に係る推薦について	・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決
【実地調査】 令和元年 6 月 5 日及び 6 日(延べ 2 日間)	配分委員 1 名により、緊急等助成資金による福祉施設機器整備(当年度機器整備)助成事業に申請のあった 5 施設について実地調査を実施した。	
【実地調査】 令和 2 年 1 月 9 日から 令和 2 年 2 月 18 日まで (延べ 16 日間)	配分委員 13 名により、令和元年度共同募金による助成事業に申請のあった 73 施設、グループ、団体の現地調査を実施した。	
【第 58 回】 令和 2 年 3 月 3 日(火) 静岡県総合社会福祉会館 集会室 (定足数) 総数 13 名(定員 13 名) 出席者 10 名	【報告事項】 (1)令和元年度共同募金運動の状況について (2)配分委員会規程第 8 条第 6 項により委員長が専決した事項の報告について ①令和元年度地域歳末たすけあい募金による助成措置 ②令和元年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 ③災害ボランティアセンターに係る助成措置 ④災害見舞金贈呈要領に基づく見舞金の贈呈 【審議事項】 第1号議案 助成要綱に定める本会が特に認めたものに関する内規の一部改正について 第2号議案 令和元年度共同募金(一般募金)による助成について 第3号議案 令和元年度(第 69 回)NHK歳末たすけあいの剰余金による助成について 第4号議案 令和元年度地域歳末たすけあい募金の剰余金による地域福祉活動助成について 第5号議案 令和元年度災害ボランティア活動用資機材助成について 第6号議案 災害ボランティア活動用資機材助成整備実施要領の一部改正について 第7号議案 令和2年度助成要綱の制定について 第8号議案 災害等準備金(平成 28 年度積立分)の使途について	・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決

6 本会開催の会議等

会議名	開催時期	対象者
使途選択募金の実施に係る説明会	5 月 8 日(水)	静岡市清水区地区社会福祉協議会
「地域共生社会の実現に向けた勉強会」 全国社会福祉協議会地域福祉部長 高橋良太氏 中央共同募金会運動推進部副部長 笈川卓也氏	8 月 28 日(水)	市町共同募金委員会事務担当者
使途選択募金の実施に係る個別打合せ	10 月 25 日(水) 10 月 28 日(月) 10 月 29 日(火)	参加 13 団体
テーマ型募金とファンドレイジング勉強会 日本地域福祉ファンドレイジングネットワーク COMMNET 理事長 久津摩和弘 氏	11 月 5 日(火)	市町社会福祉協議会事務局長
コミュニティ・ファンドレイジング講座 日本地域福祉ファンドレイジングネットワーク COMMNET 理事長 久津摩和弘 氏	11 月 6 日(水)	使途選択募金参加 9 団体 11 名、
市町共同募金委員会事務担当者打合せ	3 月 27 日(水)	新型コロナウイルス感染症のため中止
助成金交付説明会	3 月 27 日(水)	新型コロナウイルス感染症のため延期後、中止

第2 その他の会務の運営

1 関係機関との連携

(1) 中央共同募金会開催の会合等

会議名	開催時期	対象者
データベースはねっと説明会	4月9日(月)	職員
都道府県共同募金会職員研修会	4月22日(月)、23日(火) 11月14日(木)、15日(金)	職員
中央共同募金会評議員会	6月24日(月) 3月5日(木)(書面決議)	常務理事
都道府県共同募金会常務理事・事務局長会議	7月9日(火)、10日(水) 2月10日(月)	常務理事

(2) その他会議での事業説明

会議名	開催時期	参加者
市町社会福祉協議会新任事務局長研修会	5月16日(木)	常務理事
市町社会福祉協議会事務局長会議	5月16日(木)	常務理事・事務局次長
市町社協中部地区連絡会	7月12日(金)	常務理事
市町社協西部ブロック連絡会	7月30日(火)	常務理事
市町社協東部ブロック連絡会	8月30日(金)	常務理事
市町社協西部ブロック連絡会	11月29日(金)	事務局次長
市町社協西部ブロック連絡会	2月28日(金)	(資料配布)

(3) 外部研修

会議名(主催)	開催時期	参加者
監事監査研修 (静岡県社会福祉協議会)	4月12日(金)	常務理事
関東ブロック都道府県職員研究協議会 (神奈川県共同募金会)	6月24日(月)	職員

2 共同募金運動 70 年答申の推進方策への対応

平成 28 年度の「共同募金運動 70 年答申」(中央共同募金会諮問)において、今後 10 年間の方向性として「共同募金の運動性の再生」が提唱されたことを受け、その実現のため、中央共同募金会、都道府県共同募金会と市町共同募金委員会は、平成 28 年度からの当面の 3 年間で達成する共通の目標を定め、それぞれ具体的な取組みを行った。なお、令和元年度も引き続き、同じ目標で取り組んだ。

(1) 静岡県共同募金会の具体的な取組み

① 重点目標

- ・運動性の再生に向けた市区町村共同募金委員会の支援
- ・都道府県共同募金会の機能強化

② 具体的な取組みの内容と指標

実施項目	具体的な取組み内容	推進の指標(目標)	令和元年度実績
①組織の改革	市町共同募金委員会会長、事務局長、担当者を対象とした勉強会の開催	開催回数(年1回)	・8月28日(水) 「地域共生社会の実現に向けた勉強会」 ・11月5日(火) 「テーマ型募金とファンドレイジング勉強会」
	市町共同募金委員会への多様な人材の参画を促進	商工会議所、商工会への協力要請(年1回)	・県商工会連合会 7月18日(木) ・県商工会議所 8月2日(金)
②助成計画の見直し	公募助成の拡大 (使途選択募金の一般公募、助成先の発掘)	使途選択募金の参加者数(15件)	13件(-2件)

実施項目	具体的な取り組み内容	推進の指標(目標)	令和元年度実績
③募金の見直し	新たな募金ツールの開発・検討(テーマ型、寄付付き商品、社会貢献型自販機)	社会貢献型自販機の設置台数(700台)	498台(+8台)
④助成の見直し	市町社会福祉協議会助成事業の助成基準の明確化に向けた現況調査の実施→「見える化」	・助成要綱の見直し ・現況調査箇所数(年2~3箇所)	・助成要綱の見直し済み ・現況調査箇所数(5箇所)
⑤その他	民生委員制度創設 100周年に合わせ民生委員児童委員協議会に「共同募金推進決議」依頼	平成29年度の決議採択	・H29年度に大会宣言として採択

③ 進捗管理

取り組みの実効性を担保するため、毎年度、推進の指標(目標)の達成状況を理事会に報告し、進捗管理を行うとともに、取り組み内容と指標の見直しを行う。(5月理事会報告予定)

(2) 市町共同募金委員会の具体的な取り組み

市町共同募金委員会においては、次の重点目標達成のため、平成28年度からの3年間の具体的な取り組みを定め、実施している。

① 重点目標

- ・運動性の再生による共同募金運動の活性化
- ・多様な人材の参画による住民が主体となった共同募金運動の展開

② 進捗管理

取り組みの実効性を担保するため、推進の指標(目標)の達成状況を毎年度、運営委員会に報告し、進捗管理を行うとともに、取り組み内容と指標の見直しを行う。

3 共同募金運動募金経費

昭和42年9月19日付社庶第340号厚生省社会局長通知の求める“経費率概ね10%”を達成するために、物品寄付など新たな募金手法にも挑戦し募金総額の増加につなげるとともに、募金経費は常にその内容を分析・精査し、必要最小限で最大の効果を上げるよう努めた。

年度	募金経費	経費率 (募金総額に対する募金経費)	内 容
元年度	71,741,889円 (うち市町共同募金委員会経費 16,422,222円)	13.56%	市町委員会経費、人件費、事務費、事業費、中央共同募金会分担金、減価償却費ほか
前年度	72,666,287円 (うち市町共同募金委員会経費 16,512,667円)	13.45%	同上

4 社会福祉法人指導監査

社会福祉法第56条に基づく所轄庁(静岡市)による社会福祉法人指導監査(3年に1回)の実施結果は下記のとおりである。

実施時期	実施結果 (文書指摘・口頭指摘・助言)
9月19日(木)	指摘事項、助言事項いづれもなし

5 新型コロナウイルス感染症対策

令和2年3月頃から新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大し始めたため、本会においても、3月の会議は次のとおり感染予防対策を実施した。

理事会、配分委員会	マスク着用、消毒薬の設置、十分な換気、社会的距離を確保して会議を開催
助成金交付説明会	書面での説明会に切り替え

第3 社会福祉法人静岡県共同募金会職員等名簿

1 理事・監事

[令和2年3月31日現在]理事定数9~11名(現員11名) 監事定数2名(現員2名)

役職名	氏名	役職名	氏名
会長(理事)	後藤 康雄	理事	田口 博
副会長(理事)	後藤 昌弘	〃	佐藤 幸夫
副会長(理事)	杉本 正	〃	木村 功二
副会長(理事)	瀧 義弘	常務理事	大野 彰彦
理事	工藤 達朗	監事	廣瀬 清久
〃	野崎 元廣	〃	萩原 綾子
〃	水野 隆		

2 評議員

[令和2年3月31日現在] 評議員定数12~14名(現員14名)

役職名	氏名	役職名	氏名
評議員	中村 泰昌	評議員	岩崎 康江
〃	窪田 賢一	〃	秋山 辰巳
〃	風間 隆男	〃	笠井 洋明
〃	松井 和子	〃	中西 清文
〃	芦川 清司	〃	戸野谷 宏
〃	高山 茂宏	〃	川井 敏行
〃	西村 恭一	〃	合田 敏尚

3 評議員選任・解任委員会委員

[令和2年3月31日現在] 委員定数5名(現員5名)

役職名	氏名	役職名	氏名
委員(外部委員)	三浦 聡	委員	萩原 綾子
〃	佐々木 希世子	〃	藤原 由佳子
〃	嵩本 壽信		

4 配分委員会委員

[令和2年3月31日現在] 委員定数13名(現員13名)

役職名	氏名	役職名	氏名
委員長	後藤 昌弘	委員	日詰 一幸
副委員長	大野 彰彦	〃	高山 茂宏
委員	木村 功二	〃	渡辺 東作
〃	秋山 辰巳	〃	野村 諒子
〃	橋本 知之	〃	笠井 洋明
〃	藤森 昌彦	〃	山本 培代
〃	瀧 昌光		

5 職員

[令和2年3月31日現在]

役職名	氏名
常務理事兼事務局長	大野 彰彦
事務局次長	藤原 由佳子
主査	稲葉 真友子
主事	杉山 大輔
嘱託員	松永 幸子
〃	石川 ひろみ

【事務所所在地】
〒420-0856 静岡市葵区駿府町1番70号 静岡県総合社会福祉会館4階
TEL 054-254-5212 FAX 054-254-6400
e-mail 22@shizuoka-akaihane.or.jp
URL http://www.shizuoka-akaihane.or.jp/